

非稼働病床の現況について【病院】

資料 6

No.	医療機関名	所在区	非稼働病床数 ※()は令和3年度 病床機能報告数	区分 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び病床	非稼働病床の状況		計画		
					非稼働に なった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細

【北部】

1	北野病院	北区	44床 (0床)	①	令和元年度	<p>その他：病院建物の改修工事のため</p> <p>※病院建物の老朽化に伴う機能維持と、新たな建物（新館）を建設したことにより、大幅なリノベーション工事を実施中である。そのため1病棟を閉鎖し、工事箇所の移転先を確保することで、診療機能を維持しながら工事を進めている。</p>	再稼働	未定	病床の再開場所としては、病院内にある健診センターのスペースを利用する予定である。健診センターは病院とは別建物の西館を利用する予定であるが、かなり古い建物であるため、取壊しと建替えが必要である。また、感染症対策を考慮する必要もあり、計画を立てるのに時間を要している状況である。そのため達成時期を未定としている。
---	------	----	----------	---	-------	--	-----	----	--

【西部】

2	医療法人藤田会フジタ病院	福島区	3床 (3床)	②	平成28年度	<p>その他：施設基準上の制限</p> <p>※施設基準（地域包括ケア病棟）における、1病床あたりの広さの基準により許可病床数をすべて使用することができなかった為。 3 3床→30床（3床非稼働としています）</p>	再稼働	未定	病院の建て替え工事を検討している状況であるが、情勢を鑑みて着工時期については未定としている。
---	--------------	-----	---------	---	--------	--	-----	----	--

No.	医療機関名	所在区	非稼働病床数 ※()は令和3年度 病床機能報告数	区分 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び病床	非稼働病床の状況		計画		
					非稼働に なった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細

【東部】

3	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	中央区	103床（未提出）	③	平成27年度	その他：診療科の休止に伴う一時的な患者減と病院更新築計画のため	病床削減	未定	<p>病棟等の更新築予定で更新築後に病床数を現在の稼働病床数程度を目安に病床の廃止予定であったが、更新築計画が埋蔵文化財の発見等により再度設計からやり直すこととなった。更新築計画のやり直しに当たってコロナ等で時間がかかっていることもあり、非稼働病床のうち使用の目途のない47床を令和4年3月に廃止した。</p> <p>令和4年4月時点で東8階病棟および西7階病棟のうち精神病床以外の計63床分が休棟・休床となっている。東8階病棟は、平成30年度より診療科の一時休止等に伴う患者数の減少により休棟していたが、コロナ患者の受入のための病棟として令和2年3月～5月、令和4年1月～2月、7月から現時点まで稼働している。</p> <p>コロナによる経営の悪化もあり再度の更新築計画の立案に時間がかかっているが、更新築後の病棟の在り方を検討するうえで、新型コロナウイルス流行期（特に流行最初期～初期）への対応が重要となっており、現時点で必要病床数が決定できない状況となっている。計画が確定し新病棟への移転が完了する段階でその時点で非稼働の病床を廃止する計画としている。</p>
4	医療法人警和会 大阪警察病院	天王寺区	55床（55床）	③	不明	<p>経営上の問題</p> <p>※病院運営での適切な経営が成り立つ体制として、現在の稼働病床数となっているが、社会医療法人警和会 大阪警察病院と第二警察病院は2025年1月に両院を統合した形での建替を計画しており、非稼働病床もその際に返還予定としている。</p>	病床削減	令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会医療法人警和会 大阪警察病院と第二警察病院は2025年1月に両院を統合した形での建替を計画している。 ・建替構想計画の検討においては、地域医療計画等に基づき、大阪警察病院580床及び第二大阪警察病院341床の許可病床数の範囲内で病床再編を行う。
5	医療法人警和会 第二大阪警察病院	天王寺区	134床（134床）	③	令和2年度	<p>①医療従事者が不足しているため</p> <p>②法人内等の病院間での病床再編により患者の受入れを制限しているため</p> <p>※令和2年4月大阪府からの依頼により休棟病棟をコロナ病棟として運用開始。それに伴い、看護人員確保のため1病棟閉鎖</p> <p>※令和3年2月コロナ病床の追加要請あり、一般病棟をコロナ病棟へ変更。それに伴い、29床休床</p> <p>※令和3年4月大阪警察病院との統合移転に伴い、診療科減少のため病棟閉鎖</p>	病床削減	令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・東6病棟（38床）⇒休棟からコロナ病棟へ変換し、MAX20床稼働予定。今後の受け入れのために確保必要。 ・東7病棟（42床）⇒コロナ病棟としてMAX16床稼働。今後の受け入れのために確保必要。 ・西8病棟（41床）⇒東6病棟稼働のため閉鎖。稼働予定なし。 ・西5病棟（35床）⇒大阪警察病院との統合・新築移転に向け診療科再編に伴い休止。 ・HCU（4床）⇒大阪警察病院との統合・新築移転に向け診療科再編に伴い休止。 ・令和7年1月、大阪警察病院と統合し、新築移転予定。
6	医療法人アエバ会アエバ外科病院	生野区	7床（7床）	①	—	医療従事者が不足しているため	再稼働	令和6年度	看護師不足の為、非稼働病床になっている。令和6年度を目途に、看護師を増やしていき病床を稼働させる。

No.	医療機関名	所在区	非稼働病床数 ※()は令和3年度 病床機能報告数	区分 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び病床	非稼働病床の状況		計画		
					非稼働に なった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細

【南部】

7	奥野病院	阿倍野区	3床 (3床)	②	令和2年度	入院患者(分娩)の受入れを中止したため。	再稼働	令和5年度	コロナで先行き不透明な状況の中、当院の存在意義を再確認し、3床を回復期病床として令和5年度中に再稼働する予定
8	大阪公立大学医学部附属病院	阿倍野区	40床 (39床)	②	令和元年度	<p>①医療従事者が不足しているため。 ②その他：予定していた病棟再編が新型コロナ対応により中止となったため</p> <p>※①：令和2年度以降、新型コロナウイルス流行が継続しており、重点医療機関として、感染拡大状況に合わせて速やかに患者受入能力を確保する必要があるため、対応可能な看護要員を一定数確保するべく、一部休床が発生している。 また、新型コロナウイルス長期化の影響で、例年に比べて看護師の退職者が多いことから、早期の休床再開は困難な状況である。 なお令和5年度については、この状況を踏まえて新卒看護師の採用を拡大する予定である。 ※②コロナ禍に伴う再編事業の中断を受けて、従来の将来構想に一部修正を加え、令和4年度下半期に予定していた事業の進捗については以下の通りである。 ・ICU及びCCU(各6床)をICU/CCUとして統合、14床(最大16床)に増床については、工事を完了し令和4年10月に8床稼働で開始したが、状況が整い次第、稼働病床を増やす予定である。</p>	再稼働	未定	<p>・現状、令和5年度に向けて看護師の採用数を大幅に増加予定である。新型コロナウイルスの流行状況など引き続き不透明ではあるものの、要員の確保等が整い次第、令和5年度中の極力早い段階で、順次休床の再開を予定している。 ・HCUの増床については、「稼働できない理由」で述べた通りである。 ・令和7年度以降に向けて計画していた周産期病棟、緩和ケア病棟などの拡充については、新型コロナウイルスの状況や当院の財務状況等も踏まえつつ、改めて整備の有無や規模なども含めて、速やかに方向性を確定してまいりたい。</p>
9	医療法人正和病院	平野区	7床 (7床)	②	平成29年度	<p>指定医療機関の認定要件を確保するため</p> <p>※地域包括ケア入院医療管理料の算定開始に伴い、施設基準にある1床当たりの面積要件をクリアする為、病院の建て替えを行うまでの間、病室ごとで合計7床の休床の届け出をすることとなった。</p> <p>【非稼働病床の概要】 3階病棟 7病床</p>	再稼働	未定	<p>・現在の病院は築後約60年が経過し、耐震上の問題を抱えています。さらに、スペース的に余裕がなく、非稼働病床(7床)を再稼働させることは、物理的に極めて困難な状況です。従って、耐震性の確保と病床再稼働、両方の課題を解決するには、病院本館の全面建て替え(新築)をするしか方法がありません。 ・近傍での建て替えの候補地として、現在瓜破東にある大阪市が所有する土地が候補として挙がっていますが、売り出しが来年度以降となっており、そこに応募する予定となっております。 ・本館建て替えが完了した際には、非稼働病床である7床を一般病棟機能にて再稼働する予定です。</p>
10	医療法人山紀会山本第三病院	西成区	36床 (36床)	②	平成21年度	<p>建替・移転計画などにより患者の受入れを制限しているため。</p> <p>※現在の休床数は一般病床の36床です。 病院が老朽化の為、新築移転の計画があります。 新築移転時に、一般病床の36床を回復期リハビリテーション病棟と地域包括ケア病棟へ転換することを計画しております。</p>	再稼働	未定	<p>新築移転の時期は現在未定となっておりますが、期限を2024年度末とし、それまでには具体的な計画を策定する予定です。</p>
11	医療法人杏樹会杏林記念病院	西成区	41床 (41床)	①	令和2年度	<p>①医療従事者が不足しているため ②その他</p> <p>※現在の社会情勢(新型コロナウイルス)の中では、人員の確保が困難である。更に、新型コロナ感染症患者を受け入れるため、各病棟の改築工事を行い病室に陰圧器を設置した。(現)公立大学のアドバイスをを受け、ベッド間隔確保のため、1病室の病床を5~6にした。現在もコロナ病棟の病床を41床から21床にして運用している。 状況をみながら、再稼働したいと考えている。</p>	再稼働	令和5年度	<p>現状を把握し、精査した結果、休止病床を稼働するには、医師1名・看護職員が10名必要であるところ、医師につきましては、本年12月16日から、1名確保致しました。 看護職員につきましては、令和5年1月から3名、令和5年4月から、2名確保が決定しております。引き続き、あと5名を令和5年度中に確保し、早急に非稼働病床の稼働に向けて努めてまいります。</p>

非稼働病床の現況について【診療所】

No.	医療機関名	所在区	非稼働病床数 ※()は令和3年度 病床機能報告数	区分 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び病床	非稼働病床の状況		計画		
					非稼働に なった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細

【北部】

1	医療法人河野医院	北区	1床(2床)	②	-	その他：検査後確認、薬剤投与後観察（生物学的製剤）に 目的変更	その他：前記目的の為使用	-	
2	医療法人小山医院	北区	2床(2床)	②	-	その他：入院する患者がない ※後送病院への入院まちや、軽症でも入院が必要な場合、手術 後の経過を診る必要がある場合など入院が必要と判断した場合、 入院していただく用意は常に行っている。ただ、症例がないため、稼 働していないだけである。	再稼働	未定	
3	医療法人 さたクリニック	北区	3床(3床)	①	平成2年度	指定医療機関の認定要件を確保するため	指定医療機関として必要であるた め、現状の運用どおりとし、他の目的 で使用しない		
4	坂本産婦人科クリニック	東淀川区	5床(5床)	②	令和元年度	①医療従事者が不足しているため ②分娩の受入れを中止したため ※院長の休養	再稼働	未定	娘2人が産婦人科医師で育児中でそれが手がかからなくなれ ば、3人の医師による再開が可能となる。
5	医療法人石田産婦人科	旭区	10床(10床)	③	平成31年度	医療従事者が不足しているため	再稼働	令和5年度	産科医師がなかなか見つかりませんでした。 この度、産科・婦人科以外希望の先生がおられますので進めて 行く予定であります。 来年には稼働可能に努力致します。

【西部】

6	加納レディースクリニック	大正区	1床(1床)	②	平成17年度	指定医療機関の認定要件を確保するため	指定医療機関として必要であるた め、現状の運用どおりとし、他の目的 で使用しない		
---	--------------	-----	--------	---	--------	--------------------	--	--	--

No.	医療機関名	所在区	非稼働病床数 ※()は令和3年度 病床機能報告数	区分 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び病床	非稼働病床の状況		計画		
					非稼働に なった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細

【東部】

7	医療法人出馬会 出馬クリニック	天王寺区	4床（4床）	①	平成12年度	入院患者（分娩）の受入れを制限（中止）したため ※分娩の受け入れを中止したために現在稼働していません	再稼働	未定	現在分娩の受け入れを中止していますが、地域の分娩がマンションの増加等により増える可能性があり、受け入れるべきであると考えていますが、医療従事者を増やしていかなくてはならないこと、施設の老朽化等解決していかないと再開は難しいと考えます。 現在、他の法人との合併含めて、進めていくことも考えております。来年度中には方針を示せると考えています。
8	医療法人岩本診療所	東成区	7床（7床）	②	平成元年度	①医療従事者が不足しているため ②経営上の問題	指定医療機関として必要であるため、現状の運用どおりとし、他の目的で使用しない		スタッフ確保が困難のため休止しており、雇用状況、医療情勢が許せば、稼働予定です
9	藤上産婦人科クリニック	生野区	4床（4床）	③	平成22年度	①医療従事者が不足しているため ②指定医療機関の認定要件を確保するため ③入院患者（分娩）の受入れが制限（中止）しているため	指定医療機関として必要であるため、現状の運用どおりとし、他の目的で使用しない		母体保護法指定医療機関として、1床は残したいと考えています。又、突発する流産手術の際も病床は必要と思っています。
10	医療法人光臨会 奥野クリニック	生野区	3床（3床）	③	平成3年度	指定医療機関の認定要件を確保するため ※母体保護法指定の為の病床です。	指定医療機関として必要であるため、現状の運用どおりとし、他の目的で使用しない		
11	ゆきおかクリニック	生野区	1床（1床）	③	平成29年度	その他：電子カルテが有床に対応していなかった為	再稼働	令和5年度	電カル変更 又は 電カルなしでの計算を導入
12	医療法人清医会 三上クリニック	城東区	19床（19床）	②	平成25年度	①医療従事者が不足しているため ②経営上の問題 ※平成25年に休床するまでも、入院患者は数名でした。当直スタッフにかかるコストもあり、又、スタッフが退職し、経営は悪化していきました。現在、当院も次世代になりつつあるので、できる限りの診療所活用を考えようとしております。	再稼働	未定	他病院の先生等にも相談をしておりますが、なかなか昨年に回答した内容と同じであります。せっかくの有床診療所ですので、ぜひとも活用していきたいと思っておりますので、検討時間を頂きたいとお願い申し上げます。
13	南野医院	城東区	未提出（休診中）						
14	医療法人上野外科	城東区	10床（未提出）	②	(-)	①医療従事者が不足しているため ②入院患者（分娩）の受入れを制限（中止）したため ③経営上の問題	指定医療機関として必要であるため、現状の運用どおりとし、他の目的で使用しない		

No.	医療機関名	所在区	非稼働病床数 ※()は令和3年度 病床機能報告数	区分 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び病床	非稼働病床の状況		計画		
					非稼働に なった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細

【南部】

15	医療法人心明会 レディースクリニックさわだ	阿倍野区	3床（3床）	②	令和3年度	①医療従事者が不足しているため ※当院は人工妊娠中絶術を施行するための有床病床である。手術の介助に習熟した看護師が得られないため、手術を行っていないので病床は稼働していない。現在、性感染症定点医療機関として患者の点滴治療のため病床を短時間使用している。	指定医療機関として必要であるため、現状の運用どおりとし、他の目的で使用しない		
16	中井医院	阿倍野区	未提出（休診中）						
17	中島クリニック	住之江区	5床（5床）	①	平成15年度	①医療従事者が不足しているため ②経営上の問題 ③その他 ※消防法（スプリンクラー等）など条件が満たされていない。 スプリンクラー等工事の金策のため 経営上の問題で予算がつかない	再稼働	未定	スプリンクラー等解決すべき問題についても時期が未定である
18	浅野クリニック	西成区	10床（10床）	②	平成29年度	①医療従事者が不足しているため ②入院患者（分娩）の受入れの制限（中止）をしているため ③経営上の問題 ※医療安全上の問題や担当医師の欠員の為、分娩ができなくなった。 ※病床の再稼働には医師・看護師等、医療従事者の確保が必要であり、経営上の問題により、現状 増員が困難である。	経営状況を勘案しながら、再稼働を検討する。	(-)	前述の通り、早期の再稼働は困難であり、経営状況の改善・好転を図りながら、病床再稼働を目指す。
19	猪木産婦人科	西成区	1床（1床）	②	平成18年度	指定医療機関の認定要件を確保するため ※母体保護法指定のため	指定医療機関として必要であるため、現状の運用どおりとし、他の目的で使用しない		